

付託議案

昭和十年度一般會計爲公債發行ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）	昭和七年法律第一號改正法律案（關スル事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル債發行ニ關スル臨時利得稅法案（政府提出）	日本銀行納付金法（改正法律案）	國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案（政府提出）	造幣局ノ廳舎、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其他ノ附屬設備ノ新置費ニ關スル法律案（政府提出）	東京高等農林學校及函館高等水產學校ノ創設ニ伴フ帝國大學特別會計及圖書會計ノ關涉ニ關スル法律案（政府提出）	日本銀行金買入法（改正法律案）	朝鮮銀行法中改正法律案（政府提出）	臺灣銀行法中改正法律案（政府提出）
--------------------------------------	--	-----------------	-----------------------------	---	--	-----------------	-------------------	-------------------

第六十七回帝國議會
衆議院

昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員會議錄(速記)第九回

會議

昭和十年二月十五日(金曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 岡田 忠彦君

理事松村 光三君
理事上田 孝吉君

理事岡田喜久治君

田邊 七六君
廣瀨 爲久君

堀川 美哉君
大口 喜六君

太田 正孝君
鷺野米太郎君

大山斐瑳麿君
森田福市君

綾部健太郎君
金光庸夫君

山本 厚三君
後藤 亮一君

矢野庄太郎君
中島彌團次君

龜井貫一郎君

同日鷺野米太郎君理事辭任ニ付其ノ補闕ト

出席國務大臣左ノ如シ

海軍大臣 大角 岑生君

陸軍大臣 林 銑十郎君

商工大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

外務參與官 松本 忠雄君

大藏政務次官男爵 矢吹 省三君

大藏省主税局長 石渡莊太郎君

大藏書記官 入間野武雄君

大藏書記官 大矢半次郎君

預金部長 金子 隆三君

陸軍主計總監 平手勘次郎君

陸軍一等主計正 大城戸仁輔君

海軍政務次官伯爵 堀田 正恒君

海軍參與官 窪井 義道君

海軍主計中將 村上 春一君

海軍主計大佐 石黒 利吉君

商工政務次官 勝 正憲君

商工參與官 高橋 守平君

商工省商務局長 村瀬 直養君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

昭和七年法律第一號中改正法律案(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(政府提出)

臨時利得稅法案(政府提出)

日本銀行納付金法中改正法律案(政府提出)

國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案(政府提出)

○岡田委員長 是ヨリ開會致シマス、鷲野君ガ少シ御病氣デアリマシテ、理事ノ辭任ヲ申出ラレテ居リマス、之ヲ認メタイト存ジマス、異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○岡田委員長 サウ致シマスレバ其補闕ノ

互選ヲ行ヒタイト思ヒマス

○綾部委員 選舉ノ煩ヲ避ケテ委員長ニ一任致シタイト存ジマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○岡田委員長 ソレデハ直チニ指名ヲ致シマス、上田孝吉君ヲ其補闕ニ願ヒマス(拍手)ソレデハ軍部大臣ガ御出デニナッテ居リマスカラ、其方ニ質問ノアル方ヲ先ニ許シマス、ソコデ大山君、後藤君、何レモ軍部大臣ヘノ御要求ガアッタノデアリマスカラ、大山君先ニ御質疑下サルヤウニ願ヒマス

○大山委員 私ノ陸軍大臣ニ對シマスル質問ハ頗ル簡單ナコトデハゴザイマスケレドモ、私ニ取リマシテハ頗ル重大ナ問題ナノデゴザイマス、成ベク簡單率直ナ御答辯デ宜シウゴザイマスカラ、御願致シタイト思ヒマス、豫算總會其他デ度々吾々同僚ヨリ伺ッテ居リマスノデ、大體ハ承知致シテ居ルノデアリマスガ、此際特ニ此委員會ニ於テ伺ッテ置キタイトハ、第一ニ陸軍大臣ハ、國防ハ武備ノミデハナイ、武備ト共ニ國民ノ經濟力、精神力ガ伴ハナケレバナラス、斯ウ云フ點ニ付テ、軍部當局ハ從來度々斯ウ云フ意味ノ御話ガアッタノデアリマスガ、其點ハ吾々モ諒ト致シテ居リマス

ルケレドモ、尙ホハッキリト此際御同致シテ置キタイトデアリマス、若シ只今申上デマシタ前提ヲ御認ニナルト致シマシタナラバ、私共ガ常ニ主張致シテ居リマスル、所謂兵農兩全ト云フ趣旨ト云フモノハ、全ク軍部當局ノ御考ニナッテ居ルコト、同一ノモノデアアルカドウカト云フコトヲ、尙ホ御同致シテ置キタイト、內政會議或ハ陸軍「パンフレット」乃至五・一五事件等ニ於ケル軍部ノ意嚮、殊ニ現林陸軍大臣ノ閣議ニ於ケル農村ノ匡救、所謂救農費ニ對シマスル御意見、是等ニ關シマシテ私共ガ從來承知致シテ居リマスル所ニ若シ間違ガナイト云フコトデアリマシタナラバ、軍部當局モ農村ノ窮狀ヲ此儘ニ放任シテ置クベキモノデナイト云フコトニ付テハ、定メシ當局ノ御考モ同一デアラウト思フノデアリマスガ、ソレニ付テ御努力下サッテ居ル點ニ付テ、今少シク伺ッテ見タイト思フノデアリマス、尙ホ餘リ多端ニナルヤウデゴザイマスルガ、主タル根據ハ一ツデゴザイマスノデ、只今マデ御同致シタコトニ付テ大體ノ當局ノ御意嚮ヲ御伺スルコトガ出來レバ結構デアリマス

○林國務大臣 只今ノ御質疑ニ對シテ御答ヲ致シマス、軍備ノ充實ハ銑後ノ國民ノ健

全ナル發達ト申シマスカ、銑後ノ堅實ト云フコト、並行スベキモノダト云フ御意見、隨テ兵農兩全デナケレバナラスト云フ御意見等ニ付テハ、從來私共其通りニ考ヘテ居リマス、詰リ武備ヲ充實スルト云フコトハ、單ニ第一線ノ兵備ヲ整ヘルバカリデナク、後方ノ國民ノ彈力ト申シマスカ、一ツノソレニ耐エ得ル所ノ力ヲ十分ニ養ッテ置カナケレバナラス、又其戰ガ長引ク場合ニ於テ、之ニ永イ間對抗スル所ノ力ト云フモノハ、矢張後方國民ノ力ニ在ルノデアリマスカラ、其後方國民ノ財力、或ハ氣力、體力、有ユル點ニ於テ後方ノ充實ト云フコトガ、國防ノ觀點カラ必要デアルト云フコトニ付キマシテモ、從來屢、私共申シテ居ル通りデアリマシテ、全ク御同感デアリマス、隨テ唯軍部ノ豫算ガ通りサヘスレバ、ソレデハドウデモ宜イト云フヤウナ考ハ、無論私ハ有ッテ居リマセヌ、唯私共ハ國防ノ責任者、斯ウ云フ立場カラ、國防ノ點ニ於テ是レ以上ニハ今日ノ情勢ニ於テ削減スルコトハ出來ヌト云フ點ヲ考ヘマシテ、所謂國家ノ財政ノ總體ノ上カラ、其要求スル點ヲ力説スルノデアリマス、隨テ又此農村方面トカ、其他ノ方面ニ於キマシテモ、矢張ソレゾレノ擔任ヲシテ居ラル、各省ガアリマスノ

デ、其各省ノ内情ナリ、御調査ノ次第ヲ聽

イデ、サウシテ蔭ナガラ、或ハ表面カラ、

詰リ其省ノ御意見ヲ支持スルナリ、或ハ御

援助スルナリト云フヤウナコトニ依ッテ、所

謂兵農兩全ノ目的ヲ達シタイ積リデ今日マ

デ來テ居ルノデアリマス、併ナガラ財政ノ

見地カラ、又其處ニ十分ソレ等ノ各省ノ目

的ヲ完成セシムルコトガ出來ヌト云フコト

ニナリマスノデ、各省トモ十分ニ其目的ヲ

達スルコトガ出來ナイ、所謂御互ニ多少ノ

不滿ヲ忍ンデ、其各方面ノ大體協調ヲ圖ル、

斯ウ云フコトニ依ッテ進ンデ行クヨリ外仕

方ガナイト云フ考デ、今茲ニ閣議ノ内容等

ヲ申上ゲルコトハ差控ヘタイト思ヒマス

ガ、相當ニ所謂財務當局トモ折衝ヲ致シマ

シテ、今日ニ至ッテ居ルノデアリマス、ソコ

デ今後ニ於キマシテモ、既ニ總理大臣カラ

聲明ノアリマシタ通りニ、此農村ノ問題等

ニ付テハ、更ニ色々ノ方法ヲ以テ研究スル、

考ヘルト云フ點ニ付キマシテハ、總理ニ於

キマシテモ、此將來農村問題等ハ決シテ閑

却シナイト云フ御意思ノヤウデアリマス、

私共モサウ云フ風ニ益、側面カラ力ヲ致シ

マシテ、一方ニ於テ軍備ノ充實ヲ圖ルト共

ニ、一方ニ於テ出來ルダケ此方面ノ缺陷ヲ

補フヤウニ努力シタイト云フ風ニ考ヘルノ

デアリマス

○大山委員 洵ニ明快ナ御答辯、能ク分リ

マシタノデアリマス、尙ホ此機會ニ於キマ

シテ、モウ一言御尋ヲ致シタイ、現在ノ農

村ノ窮狀ト云フコトニ付テハ、度々色々ナ

會議ノ上カラ、能ク御承知ノコト、思ヒマ

スルガ、陸軍ノ方デハ壯丁ヲ通シテ農村ノ

實情ヲ御調査ニナル機會モ多イト思ヒマ

ス、各地方ノ實情ハ、直接町村役場等ニ付テ

ハ、徴兵事務ニ關シテノ交渉ガ主トナッテ

居ルヤウニ伺ッテ居ルノデアリマスガ、尙ホ

間接ニハ色々御關係モ深イコト、思ヒマ

ス、吾々ガ認識致シテ居リマスル以上ニ、

農村ノ窮狀ハ軍部當局ハ能ク御承知ノコト

ト思ヒマス、只今マデ御話下サイマシタ其

御趣旨ニ依ッテ、今後共農村救済ト云フコト

ニ付キマシテハ、一段ノ御努力ヲ煩シタイ

ト思フノデアリマスガ、尙ホ此點ニ付キマ

シテ片鱗デナク、全鱗ヲ御伺スルコトガ出

來レバ甚ダ仕合セデアリマス、大體ダケデ

宜シウゴザイマス、其努力ヲスルト云フ御

一言ヲ伺ヘバ洵ニ結構ダト思ヒマス

○林國務大臣 御答ヲ致シマス、只今ニ於

キマシテモ、軍部トシテ軍部ノ品物ヲ註文

シマスとか、ソレカラ軍部其モノデヤリ得

ル所ノ事柄ニ付テハ、相當ナ調査ヲ致シ、

又實行ヲ致シテ居リマス、ソレハ大體ノ數

カラ申シマス、陸軍ガ使ヒマス全體ノ費

用カラ見マス、比較的大ナルモノデア

リマセヌガ、農村ノ方面ニ出來ルダケ、而

モ是ガ中間ノ諸機關ヲ通ラナイデ、直接農

村トカ中小商工業者ヲ潤スト云フ點ニ付キ

マシテハ、陸軍ソレ自身トシテ出來ルダケ

ノ努力ヲ只今ヤッテ居リマス、又現ニ色々調

査ヲ命ジ、又施設ヲ命ジ、實行出來ルモノ

ハ實行ノ出來ルヤウニ現在努メテ居リマ

ス、尙ホ先程申シマシタノハ、主トシテ中

央ニ於キマシテ私共ノ立場トシテ努ムベキ

コトハ大ニ努ムル考デアリマス

○大山委員 御使ヒ下サル金ノ使途ニ付テ

ノ其御用意ハ、洵ニ有難ク感謝シテ居リマ

ス、其使フ金ヲ、直接ニ農村ニ向ケラレル

金ヲ吾々ガ要求シテ居ル場合ニ、ソレニ對

シテ國務大臣トシテ、軍部當局トシテ御援

助下サル、御努力下サル、斯ウ云フコトニ

付テノ御尋デアリマス、陸軍省ノ金ヲ御使

ヒ下サル上ニモ、今ノヤウナ御用意ノ上ニ

御使ヒ下サルコトハ洵ニ結構ナコトデアリ

マスルガ、他管ノ仕事デアルカラ、是ハ俺

ノ所管デナイ、斯ウ云フコトデナク、他管ノ

内務省方面、農林省方面ノ費用トシテ救農

事業ニ使ハレル場合、其要求ニ對シテ、國

防費ヲ御要求下サルト同ジヤウナ熱意ヲ以

テ御援助下サル、斯ウ云フコトヲ御願致シ

テ置キタイノデアリマス、尙ホ海軍大臣ガ

御見エニナッテ居リマス、私ハ主トシテ此間

題ハ陸軍大臣ニ御尋ヲスル積リデ居リマシ

タノデアリマスガ、幸ヒ海軍大臣モ此處ニ

御見エニナッテ居ルノデアリマスカラ、海軍

大臣ニモ重ネテ伺ヒタイト思フノデアリマ

スガ、委員長御許シガ願ヘマスカ

○岡田委員長 無論許シマス

○大山委員 ソレデハ先以テ陸軍大臣カラ

只今最後ニ御願ヲ致シマシタ事ニ付テノ御

返事ヲ伺ヒマシテ、ソレカラ海軍大臣ニ御

尋致シタイト思ヒマス

○林國務大臣 只今ノ御質疑ハ他ノ省、詰

リ農村等ニ關係アル他省ノ要求ト云フコト

ニ付キマシテモ、矢張陸軍大臣ノ立場トシ

テ助力ヲシテ貰ヒタイト云フ御趣旨ノヤウ

ニ拜シマスガ、ソレハ當然ノ事デアリマ

ス、私モ主トシテ今迄農林或ハ内務ノ各省

大臣ト聯繫ヲ取リマシテ、絶エズ其方面ノ

希望ト云フコトモ聽イデ、サウシテ之ニ御

助力シタイト云フ考デ始終進ンデ居ルノデ

アリマス、將來モ亦其通り努メマス

○大山委員 ソレデハ只今ノ陸軍大臣ノ御

聲明有難ク承ッテ置キマス、次ニ海軍大臣

ニ御尋フ致シマスガ、陸軍大臣ニ今迄吾々ガ御尋致シマシタコトヲ、海軍大臣ハ中途カラ御越シニナリマシタカラ、諄イヤウデアリマスルガ、改メテ御伺致シマス、

大體前口上ハ略シマシテ、國防ハ武備ノミデハイカヌ、廣イ意味ノ國防ト云フ中ニハ、武備ト共ニ國民ノ經濟力、精神力ノ、發展充實ガ伴ハナケレバナラス、斯ウ吾々ハ考ヘテ居リマス、又軍部當局カラモ常ニサウ云フ御話ガアルノデアリマス、果シテ然ラ

バ吾々ガ常ニ主張シテ居リマスル所ノ兵農兩全ト云フ趣旨ニハ、軍部當局ハ御賛同下サル譯デアラウト思フノデアリマスルガ、此點ニ關シマシテ念ノ爲ニ海軍大臣ノ御意向ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○大角國務大臣 御答ヲ致シマス、廣義ノ國防ニ關シマシテハ、只今御述ニナリマシタ通りデアルト考ヘマス、サウシテ此廣義ノ國防ヲ完全ニ達成スル爲ニハ、兵農兩全デナケレバナラスト云フ御意見モ、至極御尤ト存ジマス、先程陸軍大臣ノ答辯ノ途中デ私ガ此處ヘ參ッタノデアリマスルガ、ソレニ關シ更ニ色々御尋ガアリマシタ點ニ關シ、陸軍大臣ヨリ御答致シマシタコトモ私ハ全然御同感デアリマス

○岡田委員長 大山君、今ノ後段ノ方ハ全

然同意ダト言ッテ居ラレルカラ御質問ハ略シマスカ

○大山委員 イヤ、今其點ヲ申上ゲマス、後段ノ方ハ丁度海軍大臣ガ御見エニナッテ、陸軍大臣ノ御意見ヲ御聽ニナッタ上デノ御返答デアリマス、ソレカラ先ハ御尋スルコトモ

同一デアリマス、諒リ兵農兩全ノ主義カラ推シテ行キマシタ結論デゴザイマス、海軍大臣ニモ併セテ地方農村ノ救農事業ニ付キマシテハ、所管外タルノ故ヲ以テ袖手傍觀ト云フコトデナク、一層ノ此上トモ御努力ヲ御願致シタイト思ヒマス、軍部當局ニ對シマスル私ノ質問ハ是デ終リマス

○岡田委員長 後藤君

○後藤委員 陸海軍兩大臣ニ一二ノ御所見ヲ御伺致シタイト思ヒマス、私ノ第一ニ御尋致シタイ事ハ、昨日大藏大臣ニ對シテ御伺致シマシタト同様ノ事デアリマスガ、特ニ軍部兩大臣ノ御意見ヲ御伺致シテ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ現在我國ノ財政狀態ガ、多クノ公債ヲ發行スルコトニ依ッテ我國ノ臺所ヲ賄ッテ居ルノデアリマス、此公債ニ對シテハ國民ガ常ニ信用ヲ有ッテ居ラナケレバナラスト云フコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、所ガ昨年來千九百三十五年ニ危機アリ、三十六年ニ危機ガア

ルナドト云フ聲ガ盛ニ起ッテ居リマス、又昭和十年度ノ豫算ヲ見マシテモ、軍部ノ豫算ガ相當ニ大キイト云フコトハ、必シモ戰爭ヲ意味スルモノデナイト吾々ハ承知致シテ居リマスルケレドモ、國民ノ中ニハ千九百三十五六年ノ危機ト云フコト、併セテ、或ハ戰爭ト云フモノガ起ルノデハナイカ知ラント云フ懸念ガアルト云フコトハ、是ハ

蔽フベカラザル事實デアル、サウ致シマス、サウデナクトモ今後ドレ程公債ガ發行サレルカ分ラスト云フヤウナ懸念ガ國民ニアルト、公債ハ下落シテ國民ノ信用ヲナクスルニモ拘ラズ、之ニ加ヘテ危機アリトカ、或ハ戰爭ガアルト云フヤウナ懸念ガ、若シモ國民ノ間ニ發生シテ參リマスルト、公債ニ對スル國民ノ信用ヲ失墜スルコトモ是亦當然デアルト思ヒマス、之ニ對シテ戰爭ニ對スル所ノ懸念ヲ一掃スルト云フコトハ、矢張我國ノ財政ヲ健實ニシ、國民ニ對スル公債ノ信用ヲ高メル所以デアルト吾々ハ信

ジテ居リマス、之ニ對シマシテ私ハ昨日大藏大臣ニ對シテ質問ヲ致シマシタガ、戰爭ト云フコトニ對シテハ自分ハ何モ言ヘナイガ、夢物語ナラバ一席致サウト云フコトデ、昨日大藏大臣ノ夢物語ヲ一席拜聽致シタノデアリマスガ、此事ハ大藏大臣ヨリハ

陸海軍部兩大臣ノ御所見ヲ伺ッテ置クコトガ最モ必要デアルト思ヒマスカラ、重ネデ茲ニ兩大臣ノ御所見ヲ御伺致シテ置キタイト思ヒマス

○大角國務大臣 多分豫算分科會デ御答致シタコトガアルト思ヒマスガ、分科會デ御答致シマシタ一節ノ中ニ、凡ソ戰爭ト云フモノハ眞ニ國家ノ危急存亡ニ懸カリマシテ、大義名分ニ即シテ已ムニ已マレヌ場合ノ外ハ起ルモノデハナイ、決シテ起スモノデハナイ、併シサウ云フ場合ニハ敢然トシテ起タナケレバナラス、ダガ今ソシナ狀況ニ在ルカト云フニ、色々國際關係ノ機微ナルコトハ皆様御承知ノ通りデアリマス、之ヲ避ケルノ途如何、即チ彼ノ來ラザルヲ待ムコトナク、吾ニ待ツ有ルヲ待ムト云フ意味デ、吾々ハ完全ナル準備ヲシテ置イテ、何時デモ國防ノ安全ヲ確保スルト云フコトデアレバ、是ハ戰爭ヲ避ケラレマス、併シ泣ク子ト地頭ニハ勝タレヌ、長イモノニハ巻カレロト云フヤウナコトニナリマスレバ、避ケルコトノ出來ル戰爭ガ避ケラレナイコトニナルノデアリマス、私共ハ隨分此國費多端ノ折柄ニモ拘ラズ、軍事費ヲ要求スル所以ノモノハ、實ハ此大義名分ニ即シナイ戰爭ガ始ッテハナラナイト云フコトヲ堅ク信ジテ居リマス

ガ故ニ、是ダケノ準備ヲシテ置クナラバ日本ニ何カノ考デ掛テ來ルト云フ國モ非常ニ考ヘルデアラウ、躊躇スルデアラウ、即チ我國ハ唯侵略主義デアルト云フヤウナコトデナシニ、眞ニ我國ヲ守ルノデアルト云フ意味ノ國防ヲ備ヘテ置ケバ、自然是ガ戰爭ヲ避ケル有力ナル手段ノ第一デアラウト思フノデアリマス、故ニ吾々ハ進ンデ事ヲ構ヘルト云フ考ハ毫モアリマセヌ、相手が來タ時ニハ仕方ガナイ、併ナガラ來ナイヤウニスルニハ自ラ用意ヲシナケレバナナナイト云フ考デヤッテ居ル次第デアリマス

○林國務大臣 只今海軍大臣ノ答ヘラレマシタ大體ノ趣旨ニ於キマシテハ、私モ全然御同感デアリマシテ、今日陸軍ナリ海軍ナリガ整備シテ居リマスルノハ、所謂進ンデ戰ヲ挑マウ、又戰ガ必ズアルカヲト云フ意味デナクシテ、所謂一國ノ用心棒デアリマス、用心棒ガ相當ニ其目的ヲ達スルダケノモノニナッテ居ラナケレバ、其國ハ疎ンゼラレル、或ハ輕蔑セラレレル、其輕蔑セラレル、疎ンゼラレルト云フコトカラ、事端ヲ發生スルヤウナ虞ガアリマスカラ、全世界ニ向ッテ協調ヲ求メテ行カウト云フ外交ノ精神ヲ後カラ支援ヲシテ、其外交ノ發現ヲ力アラシムル爲ニ、相當ナソコニ國防ノ力

ヲ準備ヲシテ置カナケレバナラヌ、國防ノ力ヲ準備スルト云フコト、戰ヲ求メルトカ、戰ヲ好ムト云フコト、ハ全然別問題デアリマス、ソレガ能ク誤リ傳ヘラレル虞ガアリマスガ、今日吾々ノ執、テ居ル國防ノ方針ハ、詰リ國力ヲ充實シテ、國家ノ正義ト言ヒマスカ、其國家ノ主張ト云フモノヲ通シテ行カウ、其外交ノ後援ニナラウ、戰ガ起ルト云フ場合ハ、日本ノ體面ガ蹂躪ラレルトカ、或ハ日本國民ガドウシテモ我慢ノ出來ヌ重大問題ニ打突ルトカ云フヤウナ、所謂國家ヲ擧ゲテ戰ハザルベカラズト決心シタ場合デナケレバ、戰フコトハナイノデアリマス、サウ云フ意味ニ於テ私共ハ今日ノ狀態デ武備ガ相當ニ充實シ、其武備ヲ背景トシテ、正義ノ主張ガ外交ノ方面ニ於テ行ハレテ行クト云フコトニナリマスレバ、近キ將來ニ於テサウ戰ノ起ルヤウナコトハナイ、併シ其武備ガ所謂缺陷ヲ生ジ、或ハ國內ニ思想ノ動搖ガ生ジ、色々ノ缺點ヲ暴露スルコトニ依ッテ、或ハ戰爭ノ危險等ガ起ルカモ知レヌ、サウ云フヤウナ危險ノ起ラス爲ニ、所謂武備ヲ固メヨウ、斯ウ云フ趣意ニ外ナラヌノデアリマス

○後藤委員 兩大臣ノ御話ハ洵ニ結構ナ御話デアルト私ハ拜聴致シマシタ、恐ラク軍

備ト云フモノハ斯様ナモノデアルト云フコトヲ國民ガ聽クナレバ、非常ニ安心スルダラウト思ヒマス、但シ吾々ノ憂フル一點ハ、軍部當局ノ方々ガ斯様ナル御考デ、軍備ノ充實ト云フコトハ決シテ戰爭ト云フコトニ向ッテ進ムト云フ傾向ノ現レデハナイ、素人考デ申スナラ、戸締ヲシカリシテ置カナイト盜人ガ入ッテ來ル虞ガアルカラ、シツカリト戸締ヲシテ置クノダト云フコトデ、所謂軍備ノ充實ト云フコトニ依ッテ戰爭ガ起ラスヤウニスルト云フノガ、御理想ノヤウデアリマスガ、ソレハ洵ニ結構デアリマス、然ルニ最近間々一部——ドノ方面カラカ知リマセヌケレドモ、時々今ニモ戰爭ガアルカノ如ク、日本ハ戰フ爲ニ軍備ヲ充實シテ居ルカノ如キ言ヲ爲ス者ガアルト云フコトハ、是ハ國民ガ齊シク聞イテ居ル所デアリマス、是ハドウ云フ所カラ出ルノカ、吾々モ其出所ヲ知リマセヌ、如何ナル考ノ下ニサウ云フ宣傳ガ行ハレルカ存ジマセヌケレドモ、斯様ナル宣傳、斯様ナル聲ガ放タル、ト云フコトハ、洵ニ國民ヲ脅カスコトガ重大デアルト考ヘマス、延イデハ公債トノ關係ニ於キマシテ、或ハ戰爭ガ起ルノデハナイカ、戰爭ガ起レバ公債ハ濫發サレルノデハナイカト云フヤウナ所カラ、

公債ニ對スル所ノ信用ヲ薄クスル場合モアルト思ヒマス、斯様ナ軍部當局ノ御理想デアルニ拘ラズ、却テ其反對ノ宣傳ガ行ハレルヤウナコトガ、若モ將來モ起リマスストスルナラバ、軍部當局ノ御理想ト、ソレハ反シタ行動デアルト吾々ハ考ヘマスノデ、此點ニ對シテハ、若シサウ云フコトガ御分リユナルヤウナ場合ガアツタナラバ、特ニ嚴重ナル御監督ヲシテ戴キタイト云フコトヲ御願申上ゲルト同時ニ、斯様ナ點ニ付テ御所見ガアルナラバ此際御伺シテ置キタイト思ヒマス

○岡田委員長 別ニ御返事ナイヤウデス

○後藤委員 尙ホモウ一ツ御伺致シタイノハ、最近皇道中心トカ、或ハ皇室中心主義トカ云フ名ノ下ニ、多クノ團體ガ出來テ來タヤウデアリマス、是ハ大體一口ニ右翼主義ノ團體ト謂ハレテ居ルヤウデアリマスガ、是等ノ團體ノ内容ヲ檢討シテ見マスト云フト、總テガサウトハ申シマセヌガ、大體ソレ等ノ團體ノ掲グル所ハ、財閥ノ打破、支配階級ノ撲滅ト云フヤウナコトガ、大體其内容ニナッテ居ルカノ如ク吾々ハ考ヘルノデアリマス、是ハ吾々ノミナラズ、齊シク識者ノ知ッテ居ル所デアリマス、而シテサウ云フ皇室中心、皇道中心、或ハ國家

中心ト云フヤウナ美名ノ看板ヲ掲ゲテ居テ、而モ其内容ニ於キマシテハ、只今申上
ゲルガ如キ主義主張ヲ以テ進シテ居ル團體
ガ澤山アルヤウニ見受ケマス、而シテソレ
等ノ團體ノ演說會ヲ見ルト云フト、殆ド大
會トカ何トカ言ハレル大キナ會ニハ、必ズ
軍人ガ、何々少將、何々中將ト云フヤウナ
人ガ、必ズ其講演ヲスル人ノ一人ニ加ッテ
居ラレルヤウナ場合ガ多イノデアリマス、
是ハ勿論私等ノ考デハ、其講演ニ行カル、
所ノ人、或ハ依頼ヲ受ケラレタ所ノ人ハ、
本當ニ皇室中心主義ノ團體デアル、或ハ國
家中心主義ノ團體デアルト云フコトヲ考ヘ
テ、行カレルノデアリマセウガ、併シ其他
ノ會員ノ演說ヲ聽イテ居ルト云フトサウデ
ハナイ、是ハ所謂思想團體トシマシテ、吾
吾ハ洵ニ警戒シナケレバナライモノデア
ルト考ヘルノデアリマスガ、斯ウ云フ事ニ
對シテ、矢張軍部當局トシテハ、相當ノ御
關心ヲ持ッテ戴キタイモノデアルト考ヘル
ノデアリマスガ、之ニ對シテ御所見ガアレ
バ御伺シテ置キタイト思ヒマス

○林國務大臣 滿洲事變後色々今御話ノ通
リナ精神團體ガ、非常ニ澤山出來テ居ルト
云フコトハ、私共認メテ居リマス、又其精
神團體ノ中ニモ千差萬別デアッテ、色々其主

義主張ニ於テモ異ルモノガアリ、單ニ皇道
主義ト申シマシテモ、其中ニ種々様々ノモ
ノガアルト云フコトモ認メテ居リマス、只
今御話ノ、將校ガ個人トシテ臨ンデ、色々
モノヲ述ベルト云フヤウナ機會モ、其會ノ
性質、團體ノ性質等ニ於テハ、相當ニ豫後
備ノ軍人等ガ出テ參加ヲスルト云フヤウナ
コトモアリ得ルコト、考ヘテ居リマス、將
來ソレ等ノ點ニ付テ、軍人トシテ甚ダ感心
セスト云フヤウナ問題ガアレバ、無論取締
ル考デゴザイマス

○後藤委員 滿洲ノ事ニ付キマシテ、一點
御伺致シタイノデアリマス、是ハ或
ハ對滿事務局總裁ト云フコトニナルノ
カトモ思ヒマスガ、併シ陸軍大臣トシ
テモ特ニ聽イテ戴キタイト思ヒマス、
滿洲ノ現狀ハ餘程整備サレテ來タヤ
ウデアリマシテ、今ヤ追々ト文政モ布カ
レテ行クヤウデアリマス、而シテ勿論文
武、此二ツノ途ガ相竝ンデ滿洲ノ内部ヲ固
メ、滿洲ノ人々ヲシテ、日本ハ滿洲ニ對シ
テ虚心坦懷ニ、誠意ヲ以テ援助ヲシ、之ヲ
王道樂土ニスルノデアルト云フコトヲ信ゼ
シメナケレバナラヌノデアリマスガ、此内
部ノ工作ニ付テ、私共ノ考デハ現在ノ文武
兩道ノ遺方ノ外ニ、特ニ宗教的力ヲ用ヒラ

ル、コトガ必要デアルト考ヘルノデアリマ
ス、御承知ノ如ク支那人ハ、宗教ニ對シテ
ハ相當ノ信仰力ヲ有ッテ居リマス、ソレデ本
當ニ日本人ハ君等ノ爲ニ仁慈ノ心ヲ以テ治
メテ行ク、君等ト提携シテ行クノデア
ル、君等ヲシテ本當ノ王道樂土ノ民トシテヤ
ルノデアルト云フコトヲ申スノモ、武ノ力
ヲ以テ、所謂權力ヲ以テ之ヲ治メルト云フ
コトガ何時マデモ續イテハ、本當ニ滿洲人
ヲ同化シテ行クコトハ到底出來ナイと思フ
ノデアリマスガ、此場合ニ彼等ヲ本當ニ精
神的ニ感化シテ、日本人ハサウ云フ力ノミ
ヲ用ヒル人間デナイ、飽迄モ誠實ト、サウ
シテ平和ナ心持ヲ以テ滿洲ヲ治メテ行クモ
ノデア
ル、提携シテ行クモノデアルト云フ
コトヲ衷心ヨリ感ゼシムルデナカッタレ
バ、本當ニ滿洲人ヲ治メルト云フコトハ出
來ナイト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、
之ニ對シテ宗教ハ勿論、他ノ力ヲ借りテ爲
スベキモノデナク、宗教獨自ノ力ヲ以テ布
教傳道ヲ致シテヤルノガ本來ノ使命デアリ
マスケレドモ、斯様ナ所デ特殊ナ布教ヲ爲
スト云フガ爲ニハ、國家ノ大ナル後援ノ力
ガナクチャナラヌ、或ハ直接間接ニ相當ノ
支援ヲシテ貰ハナケレバ、本當ノ布教傳道
ガ行ハレナイト云フコトハ、是ハ事實ニ即

シタル問題デアリマス、之ニ對シマシテ陸
軍ニ於キマシテハ、宗教政策ト申シマス
カ、或ハ宗教傳道ノ政策ト申シマスガ、斯
様ナ方面ニ對シテ、現在ドウ云フ御考ヲ
有ッテオイデニナルカト云フコトヲ、一應御
伺致シテ置キタイノデアリマス

○林國務大臣 滿洲ノ人心ニ對シテ、宗教
的ノ工作ヲスル必要ノアルト云フコトノ御
意見ハ御同感デアリマス、現ニ又實際滿洲
ニ於テ日本内地ノ各種ノ宗教等ガ、ソレゾ
レ活動ヲ開始致シテ居ルコトモ私共承知
シテ居リマス、併シマダ之ニ對シテドウ云
フ風ナ、所謂御話ノ宗教政策ト云フモノ
ヲ、ドウ云フ風ニ定ムベキカト云フヤウナ
問題ニ付キマシテハ、吾々對滿事務局トシ
テ、其點ニ付テマダ何等考ヲ及ボシテ居ラ
ヌヤウナ狀態デアリマス、私個人トシテ
ハ、相當此問題ハ考ヘナケレバナラスト云
フ風ニ、只今考究シテ居ル次第デアリマ
ス、ドウ云フ風ナ宗教政策ヲ執ッたら宜カラ
ウト云フヤウナコトハ、只今申上ゲル程度
ニ至ッテ居リマセヌ

○後藤委員 私ノ質問ハ是デ終リマス
○岡田委員長 軍部大臣ニ對シテ御質問ノ
方ハ他ニアリマセヌカ
○松村委員 軍部大臣ニ對シマシテ、私

ハ多數ノ質問ヲ有テ居リマスルガ、ソレハ大藏大臣其他ノ關係ノ大臣ノ御列席ノ上デナイト、同ジコトヲ繰返ス虞ガアリマスカラ、保留致シテ置キマス

○岡田委員長 ソレデハ大山君、外務、商

工兩大臣ニ對スル御質問ヲ御許シ致シマス

○大山委員 私ハ外務大臣、商工大臣ニ併セ伺フコトモアルノデアリマスガ、今外務大臣ハ御差支ノヤウデアリマスカラ、先ヅ以テ商工大臣ニ……

○岡田委員長 大山君、外務大臣ハ御見エニナリマセヌガ、次官、參與官ガ見エテ居リマスカラ、其御積リデ……

○大山委員 宜シウゴザイマス、先ヅ商工大臣ダケニ御伺致シマス、商工大臣ハ、豫算總會デアリマシタカ、何處デアリマシタカ、吾々同僚ノ質問ニ對シテ、中小商工業者ノ爲ニ、商業組合ヲ基礎トシテ、商工中央金庫ト云フモノヲ創設ニナル、其御考ヲ御有チニナッテ居ル、斯ウ云フコトガ發表サレテ居ッタデアリマスルガ、ソレニ對スル商工大臣ノ御意見ヲ、此機會ニ確メテ置キタイト思ヒマス

○町田國務大臣 御答致シマス、本會議デアッタラウト思ヒマス、或ハ豫算總會デモ申述ベタト思ヒマスガ、マダ商業組合、工業

組合ノ中央金庫ノ組織内容マデハ、ハッキリシタ具體案ガ出來テ居マセヌガ、大體ノ考方ハ其席デモ申シマシタ通り、私ノ今日考ヘテ居ルノハ、五ツノ方面カラ中小商工業ノ窮狀ヲ救ヒ、且ツ其發達ヲ促スコトヲ考ヘテ居ルデアリマス、一ツハ一般普通銀行ガ、モット中小商工業ノ方ニ活躍スルコトモ其一ツデアアル、是ハ丁度其後デアリマシタガ、大藏大臣モ此總會ノ席ニ於テ、今ノ普通銀行ガ餘リ自己防衛ニバカリ片寄り過ぎテ居ルト云フコトヲ此處デ述べラレテ居ッタヤウデアリマスガ、丁度私ノ考方ト一致シテ居リマス、是ハ是非一般普通銀行ガ、モット中小商工業ノ方面ニ向ッテ、進ンデ働クコトヲ希望シテ居リマス、ソレニハ矢張小賣商業ヲ中心トシタ多數ノ人ガ、矢張其經營ト組織ヲ改善シテ、是ナラバ一般銀行モ信用ヲ與ヘルコトガ出來ルゾト云フ風ニ、雙方カラ歩ミ寄ッテ行キマスレバ、相當大キナ働ガ一般銀行ニ望ミ得ラル、ト思ヒマス、餘計ナ話カ知リマセヌガ、少シ長クナリマスガ、東京ニハ十三萬以上ノ小賣商ガ居リマス、之ニ對シテ普通銀行ガ働イテ居ル部分ガ——東京市ノ多年ノ調査ニ依ッテ出來タモノニ依リマスト、一割五分ヨリナイサウデアリマス、是デハドウモ中

小商工業モ洵ニ困ルト思ヒマス、ソレデ中小商工業、殊ニ小賣商ニ於テモ、自ラ改善セナケレバナラヌ所ニ向ッテハ、今商工省デ小賣商改善委員會デ精々ヤッテ居マス、是ト相對シテ一般銀行ニモ進ンデ貫ハナケレバナラヌ、丁度此席ニ東京商工會議所ノ副會頭モ委員トシテ御出デ、アリマスカラ、是ハ豫テ御話合モシテ居リマスガ、兩々相進ンデ行キマスレバ、相當ナコトガ出來ルト思ヒマス、一般銀行、興業銀行、無盡、ソレカラ大口サンガ鞭撻シテ下サツタ公設質屋、是ト同時ニ中央金庫ハ行カナケレバイカスト思ヒマス、率直ニ先刻モ申上ゲマシタガ、私ハ商工省ニ入リマシタ時ハ、中央金庫ヲ作ルノハマダ少シ早イト云フ考ヲ有ッテ居ッタ、産業組合ハ二十年以上過ギテカラ、中央金庫ガ初メテ出來タ、商業組合、工業組合ハ全國デマダ雙方合セテ千幾ツ位ヨリナイ、モット進ンダ後ニ中央金庫ガ必要ダト云フ考ハ初メ有ッテ居リマシタ、併シ今日ノ實情カラ見マスレバ、此中央金庫ヲ作ッテ置イテ、之ヲ目標トシテ商業組合、工業組合ノ發達ヲ促スト云フ意味ニ於テモ中央金庫ガ必要ダ、斯様ナ確信ヲ有ッタデアリマス、併シ是ハ此席デモ申シタ通り、大藏當局ガ主ナル關係廳

デアリマシテ、此方トハ正式ノ話ハマダ致シテ居リマセヌノデアリマスガ、次ノ通常議會ニハ必ズ之ヲ出シタイト云フ確信ヲ有ッテ今努力中デアリマス

○大山委員 元銀行ノ業務ニモ深い御造詣ヲ御有チニナッテ居ル現商工大臣ガ、實情ニ即シテ御立テニナル御案デアリマスルカラ、改メテ私共ガ註文申上ゲル必要ハナイト思ヒマスルケレドモ、併シ折角御考ニナッテ居ル事柄ニ付キマシテ、老婆心ト申シマスルカ、何ト申シマスルカ、釋迦ニ說法ノヤウナコトデアアリマスケレドモ、御注意旁、希望ヲ申上ゲテ置キタイト思フ、商工中央金庫ノコトニ付キマシテハ、今更申上ゲルマデモナク、前中島商工大臣ガ御就任ノ際ニ此問題ヲ御考ニナッテ、其時ニ私共ハ商業組合、工業組合、輸出組合——勿論工業組合、輸出組合ハ出來テ居リマシタガ、商業組合ガ出來テ居ナイ、ソレデ此中小商工業者ニ關スル問題ト致シマシタハ色々アリマセウガ、問題ハ商業組合ヲ拵ヘルト云フコトモ一ツデアリマスガ、商業組合ヲ拵ヘル必要ハ所謂中小商工業者ニ對スル金融ヲ滑カニスルト云フコト、内部ノ統制ヲシテ行クト云フコト、此二ツ、ソコデ折角商業組合ヲ御設ケニナッテモ、組合法案ヲ御

設ケニナツテモ、金融方面ニ肝腎ナ中央金庫ト云フモノガ出來ナケレバ、商業組合創設ノ制度ヲ御始メニナル半分以上ノ理由ト云フモノハ失ハレル譯デアアル、其際商業組合ノ法案ノ時ニモ喧シク申上ゲタノデアリマスガ、不幸ニ致シマシテ、其時分ニハ高橋大藏大臣ガ之ニ御同意ガナカッタ、ソレデ已ムヲ得ズ商業組合ダケガ其當時議會ヲ通過シテ、出來上ツタ譯デアリマス、併シ是ハ當時私ガ委員トシテ申上ゲタ通り、恰モ水源地ヲ作ラズシテ、水道ノ「キヤナル」ダケヲ御著ケニナツタヤウナモノデ、何等目的ハ達セラレナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、今東京ノ例ヲ舉ゲテ商工大臣ハ御話ニナツテ居リマスガ、吾々モ中小商工金融ト云フコトニ付テハ相當努力モ致シマシタ、實際東京方面ノ甲種銀行、乙種銀行、兩方ノ當局者ヲ呼ンデ色々話モシマシタ、現在各銀行ノ窓口ニ小口金融ノ途ハ大體ニ於テ付イテ居リマス、併シ是ガ應用ガ出來ナイノハドウ云フコトデアラウ、斯ウ考ヘマスル時ニ、研究ヲ致シテ參リマスルト、結局損失補償ノ問題ニ歸スル、中小商工業者ト申シマシテモ、殆ド小賣商人デアリマス、是等ニ付キマシテハ勿出サレタ、信用ノ乏シイ、資力ノ最モ薄弱ナ者ヲ相手デアリマ

スカラ、ドウシテモ損失ノ危険ト云フモノハ非常ニ多クナル、之ニ對シテ實際カラ申シマス、其ノ割程度ノモノデモ補償ノ途ガアリマスレバ、取引ハ容易ニ行ハレルシ、又窓口デ小口ノ金融ヲ付ケタモノガ、實際ニ於テ非常ナ損失ヲ銀行ニ掛ケルト云フヤウナコトハ實際ニハナイノデアアル、却テ小口ノモノハ安全ナモノナンデアリマスケレドモ、何セヨ銀行業者モ株主ニ對シテ相當ノ責任ガアルコトデアリマスカラ、成ベクサウ云フ危険ナモノハ避ケルト言ツタヤウナコトニナル、ソコデ損失補償ノ伴ハナイモノデアッテハ、如何ニ努力サレマシテモ其結果ヲ舉ゲルコトガ出來ヌ、其當時モヤカマシク申シマシタノデアリマスガ、政府ガ低資金融通ヲ爲サル、低利資金ヲ御出シニナツテモソレガ吸收サレナイ、完全ニ商工業者ノ所ヘ流レテ行カナイト云フノハ、大部分ソコニ原因ガアルト思フノデアリマス、金ハ借りタクテ、興業銀行ノ中小商工金融ニ融通資金ヲ仰ギタイト言ッテ、興業銀行ヘ三千人モ押掛ケテ行ッテ、商談ニナツタノハ、僅ニ一件カ二件デアッタト云フヤウナ事例ガアル、ソコデ此御如オハ無論ナイコトデアリマスガ、國家ノ損失補償ノ伴フ制度ノ、中央金庫ヲ一ツ是非御考ヲ願ヒタイ、而シ

テ此點ニ付キマシテハ大藏大臣ハマダ御話合ニナツテ居ナイト云フコトデアリマスガ、私共ノ最モ憂フル所ハ、現大藏大臣ノ頭ガ此問題ニ付テマダ御了得ガ出來テ居ナイト思ヒマス、其點ニ付テ憂ヲ抱ク譯デアリマスルガ、現商工大臣ハ大藏大臣トモ能ク御打合せ下サイマシテ、大藏省ニ此商工省所管ノ中央金庫創設ト云フコトニ向ッテ暗礁ガアリマスカラ、是ハ從來度々此點ニ引掛ッテ、歷代ノ大臣ガ惱マサレテ居ルノデアリマスルカラ、先ヅ商工大臣ト大藏大臣ガ最モ御近イ仲デモアルノデアリマスルカラ、希クハ商工大臣ヲ通ジテ大藏大臣ノ中小商工金融ニ對スル將來ノ御方針ニ付テ十分ナル御諒解ヲ與ヘラレマスルヤウ、サウシテ中央商工金庫ノ一日モ早く實現致シマスルヤウ御努力ヲ御願致シテ置キタイト思フノデアリマス

ソレカラモウ一ツ御同致シタイノハ、前中島商工大臣ハ非常ニ産業ノ合理化統制ト云フヤウナコトニ向ッテ御努力ニナリマシタ、結構ナコトデアアリマスルガ、其跡ヲ見マスルト云フト、最初ノ御趣意トモ違ッテ居ルト申ス程デアリマセヌガ、結果ニ於テハマダト分ノ働キラシ得ナイノデアリマスカドウデスカ、少シ最初ノ御説明ト違ウ所ガアル、極ク小サイ所カラ申シマスルナラバ、商業組合ノ統制ト云フコトニ付テ、是ハ其當時ヨリ私ハ申上ゲテ置イタノデアリマスルガ、不幸ニシテ私ノ憂慮致シマシタ點ガ、今實際ニ於テ現レテ居ル、ソレハ價格ノ統制協定、詰リ組合ノ協定價格ト云フモノヲ飽迄モ維持シ得ラレマスルヤウニ十分ナル統制力ヲソコニ認メテ戴ク、ソレカラソレノ結果ト致シマシテハ、組合ソレ自身ニ吾々ハ強制加盟ヲ認メルノガ宜イト思ヒマスルケレドモ、今ノ商業組合ノ建前ハ、自由加盟ノ組織ニナツテ居リマス、併シ自由加盟ノ組織ニナツテ居ルケレドモ、商工省ハ命令一本デ以テ、其地方ノ統制ト云フコトハ付クコトニナツテ居ルノデアリマスルカラ、之ヲ十分活用シテ戴イテ、サウシテ忌ハシイ反産運動ナドノ起ラナイヤウニ、能ク地方ノ信用組合等トノ協調ノ得ラレマスルヤウ、各地方ノ商業組合ニ對シテ十分ナル御助力ヲ御願シタイト思フノデアリマス、折角商業組合ヲ御作りニナツテモ、二十年三十年ノ長イ年所ヲ經テ、サウシテ又十分ナル各方面ノ援助協力ヲ得テ居リマスル所ノ産業組合、是等ト今ノ創設ノ仕立テノマダ何等基礎ノ出來テ居ラヌ商業組合ト、對等ニ歩カセルト云フコトハ是ハ無理ナ話デア

ル、今ノ商工大臣ハ幸ニ其邊ニ理解ノ深イ
方デアリマスルカラ、産業組合ニ與ヘルト
同一ノ、寧ロソレ以上ノ保護ヲ商業組合ニ御
與ヘ下サラスト、是ハ同一ニ歩イテ行カレナ
イ、ドウカ此點ニ付テ十分ナル御努力ヲ煩シ
タイト思フノデアリマス、尙ホ大キイ所ニ付
テノ統制ニ付テハ、是ハ又少シク議論ガア
リマス、製鐵合同ヲ爲スツタノハ宜イケレド
モ、鉄鐵饒饒ヲ今懸ヘテ居ルヤウナ情勢デ
アリマス、是ハ色々事情ハアリマセウ、アリ
マセウケレドモ、ソレデハ吾々ガ製鐵事業合
同ニ贊成ヲシタ趣意ハ達セラレテ居ラス、又
麥酒ノ統制マデニモ及ンデ行キマシタ、及
ンデ行キマシタガ、内幕ハ吾々モ能ク承知致
シテ居リマセヌガ、獨リ中島商工大臣ニノミ
ダケ責任ヲ負ハスル譯ニハイカヌヤウナ事
情ニナツテ居リマスケレドモ、世間カラ見マ
スト、商工省ガ麥酒界ノ競争ヲ阻止サシテ、
サウシテ協定ヲサセル、之ヲ統制シテ行ツタ
ノハ宜シイ、宜シイガ、其結果統制ニ依ッテ
消費者ガ得タモノハ何デアアルカト言ヘバ、
麥酒代ノ値上、斯ウ云フコトニナツテ居ル、
消費者ノ方ニハ何等統制ニ依ッテ便利ハ得
テ居ラス、斯ウ云フコトニナツテ居ル、麥酒
ノ粗製濫造デアッタモノガ、良イ麥酒ニナッ
タト云フコトモナイ、今マデ良イ製品ガ日

本デハ出來テ居ツタ、サウ云フコトヲ聞キマ
ス、私ハ麥酒ノ方ハ酒黨デナイカラ、餘リ
能ク知リマセヌケレドモ、サウ云フコトヲ
聞キマス、市場デハ確ニ値上ニナツタ、麥酒
會社ニ聽クト、麥酒會社ハ値上ヲシタノデ
ハナイト云フ、併シ斯ウ云フコトヲ聞キマ
ス、現在兎モ角モ此大キナ事業ノ、又國民
大衆ニ關係ノアル斯ウ云フ大キナ事業ニ對
スル統制ハ、得テシテサウ云フ弊害ヲ招
ギ易イモノデアリマスカラ、今ノ鉄鐵饒饒
ト云ヒ、或ハ麥酒ノ統制ト云ヒ、其他ノコ
トニ付テモ、斯ウ云フコトハ多々例ガアル
ト思ヒマス、大キイモノニ付テハ十分ニ弊
害ノ起ラヌヤウニ、サウ云フ御方針デ御願
ヲ致シタイ、小サイモノニ付テハモットノ
商工省ノ方デ力ヲ御注ギニナツテ、サウシテ
農林省ト商工省ガ喧嘩ニナラヌヤウニ、産
業組合ト商業組合トガ、或ハ申小商工業者
トガ非常ナ争ヒヲシナイヤウニ、共存共榮
デ共々ニヤッテ行ケルヤウニ御盡力ヲ煩シ
タイト思フノデアリマス、尙ホ此點ニ對シ
マスル現商工大臣ノ簡單ナル御意見ヲ伺ヘ
レバ仕合デアリマス
○岡田委員長 簡單デ宜イサウデアリマス
カラ、ドウゾ簡單ニ
○町田國務大臣 只今ノ御意見ヲ拜聽シマ

シタ、大體ニ於テ御同感デアリマス、ノミ
ナラズ私ノ氣ガ付カヌコトヲ只今御意見中
ニ承ッテ非常ニ喜ンデ居リマス、尙ホ御希望
ノヤウニ大體ニ於テ御同感デアリマスカラ
努力致シマス、又議會デモ濟ミマシタナラ
バ、改メテユックリト御話ヲ伺ヒタイと思
ヒマス(笑聲)
○大山委員 モウ大體伺ッテ居リマスシ、私
ハ殆下質問ニ名ヲ藉リテ希望ヲ申上ゲ
タヤウナ積リデ居リマス、之ヲ御承認下
スツタソレデ宜シイノデアリマス、
次ハ此委員會ニ付託ニナツテ居リマス國
際文化事業ニ關係スルコトデアリマスガ、
萬國博覽會ニ付テ一應御伺ヲ致シタイ
○町田國務大臣 實ハ數日前ト思ヒマス、
東京府知事、市長、ソレカラ商工會議所ヲ
代表サレタ方々及横濱ノ同様ノ方々御揃デ
御出デニナリマシタ、大體アレハ今カラ六
年後デアリマスカ、二千六百年ヲ期トシテ、
日本ノ建國竝ニ世界無比ノ國體ヲ廣ク世界
ニ發揚スル意味ヲ含ンデ、大博覽會ヲ作り
タイト云フコトデアリマス、此方ノ阪谷男
爵カラハ個人トシテ御話ガアリマシタ、先
年モ斯様ナ考ガアッタノデアリマスガ、何カ
商工省初メ政府部内ニハ餘リ進マナカッタ
ト云フヤウナ意味合ノ御話モ個人的ニアリ

マシタ、此度ハ正式ニ横濱、東京ノ責任ノ
方々ガ皆御揃デ御話ガアッテ、主意書ヲ御示
シニナリマシタ、一、二御尋ヲシテ、ドウ
云フ經營方法デアルカ、或ハ資金ヲ如何ナ
ル方法デ集メルカト云フヤウナコトニ對シ
テモ一應伺ッテ置キマシテ、商工省トシテモ
組織經營ガ如何ニ行クカト云フコトニ對シ
テ、一應取調ベタ上ニ又御目ニ掛ラウト云フ
程度デ別レマシタ、是ハ結構ナコト、大體
思ヒマス、併シ從來ノ博覽會ハ、各國ニ開設
サレマス世界博覽會ニ對シテモ、矢張民間
ハ勿論、政府トシテモ之ニ贊同スル意味デ
ヤッテ居ルノデアリマス、之ヲ初メテ日本デ
開催スルト云フコトニナリマスレバ、餘程
其規模、經營等ニ對シテ遺憾ナキ研究ノ結
果デナケレバドウカト思ヒマス、此次ニ御
目ニ掛ツタ時ニハ、其點ヲ能ク御尋モシ、竝
ニ政府ト相當ノ連絡ヲ取ラル、方ガ宜カラ
ウト思ヒマスガ、今日マデ其連絡ハ何モナ
イヤウデアリマス、是ハ此席デ申スヨリモ、
マア私話ニ屬スルヤウナコトデアリマス
ガ、大體ノ事業ノ計畫ハ、東京、横濱ヲ中
心トシテアルヤウデアリマス、之ヲ本當ニ
ヤルノニハ矢張經營ノ根柢カラ能ク御研究
ニナリマシテ、何レニシテモ政府ガ相當ナ
援助モセナケレバナラヌ性質ノモノト思ヒ

マスカラ、餘程其邊ノ互ニ相談デモシ合フマデニ行カナケレバナラヌと思フガ、今ハサウ云フ方ハ何ニモ手ガ著イテ居ラヌヤウニ思ヒマス

○大山委員 他ノ御方ニハ御迷惑ト思ヒマ
スガ……

○岡田委員長 私話ニ屬セヌ程度ニオヤリ
ナサイ

○大山委員 萬國博覽會關係ト致シマシテハ、最モ重大ナル關係ノアル仕事デアリマス、今ノ商工大臣ノ御答辯ハ無理カラヌトハ思ヒマスケレドモ、他ノ問題ニ對スル質問ニ對シテノ御答ヨリハ、極メテ不満足ナ御答デアル、尙ホ其點ニ付テ、モウ一應明ニシテ置キタイ

一體國際文化事業ト云フヤウナコトノ執行トシテハ、萬國博覽會ノ如キガ一番宜イダラウト私ハ今以テ強イ信念ヲ有ッテ居リマス、先達モ各方面ノ方ニ其事ヲ御話申上ダタ、ソレ故ニ此國際文化事業ト云フモノニ、モット政府ガ手ヲ御付ケニナッテ、オヤリニナル、其皮切リトシテ是非此萬國博覽會ノ如キニ向ッテ皮切リヲシテ戴キタイト、斯ウ考ヘル、今ノ商工大臣ノ御話ニ依リマスルト、極メテボンヤリシタ、マダ序ノ口ノ計畫ノ如ク御考ニナッテ居ルヤウデアリマ

スルケレドモ、是ハ古カラノ御話デアリマスガ、併シ私共ガ取扱ヒ出シマシテカラデモ、昭和四年カラノ問題デアル、ソレデ最近政府ニ對シテ直接交渉ヲ致シマシタノハ昭和六年デ、昭和六年、七年、八年、九年ト、年々ノ議會ニ必ズ是ハドナタカラカ話ヲシテ、政府トハ交渉ガアル、サウシテ具體的ノ計畫モ昭和六年當時ニモウ既ニハ私ガ中心ニナッテヤッタコトデアリマスカラ、間違ハナイノデアリマスガ、具體的ノ計畫ヲ樹テ、政府ニ要望致シマシタ、其時ハ昭和十年ヲ以テ開催スルト云フコトデアッタノデアリマスガ、阪谷男爵ノ方デハ斯ウ云フ大キナ仕事ハ、丁度紀元二千六百年ト云フモノガ昭和十五年ニ當ルカラ、モウ五年待ッテ立派ナ意義ノアルモノヲヤッタ宜イデハナイカ、國家の記念事業トシテヤルコトガ頗ル宜カラウト思フ、又ソコ迄至レバ相當ノ準備モ出來ヤウト思フノデアアルカラ、是ハ昭和十五年ニシタ方ガ宜シイ、斯ウ云フ御話ガアリ、横濱市ガ其當時マダ復興ガ緒ニ就イタバカリデアリマシタガ爲ニ、昭和十五年ニナレバ大體復興ノ事業モ完了スルト思フカラ、其時マデセヌ方ガ宜シイト云フコトニナッテ、結局昭和十五年ヲ期シテヤルト云フコトデ延ビタノデアリマ

ス、ソレカラ其計畫ノ内容ニ付キマシテハ、其當時三千萬圓ノ資金ヲ基ト致シマシテ、サウシテ三千萬圓位ナ事業計畫ト致シマシテ、其内一割、即チ三百萬圓ダケハ政府ノ補助ヲ仰グ、ソレカラ直接地元ノ有志カラ他ノ各種ノ適當ナ資金ヲ得マシテ、其資金ヲ基礎トシテ事業ヲ進メテ行クト云フ、斯ウ云フ計畫、而シテ三千萬圓ノ大體ノ資金ハ切符ノ前賣ヲスル、斯ウ云フコトデアッタ、其切符ノ前賣ニハ相當ノ條件ヲ附ケマシテ、勸業銀行ノ有シテ居ルアノ勸業債券ノ富籤ト申シマスカ、何ト申シマスカ、割増金デス、此方法ヲ若シ之ニ加味致シマシタナラバ、相當巨額ナモノガ賣レルダラウト考ヘマシテ、ソレデ計畫ヲ立テタ、當時政府當局ニ向ッテ決シテ關係ハナクハナカッタノデアアル、十分御話ヲ申上ゲテアル、當時ノ警視總監、法制局長官、是等ノ御考モ伺ッタ、所ガ大體是ハ非常ニ重大ナ問題デアルガ、若シ勸業債券デ認メラレル程度ノモノデアレバ、閣議ノ方デ之ヲ若シヤッテモ宜イト云フコトデアレバ、ドウデモヤリ様ガアルダラウ、勸業債券ニ認メラレルモノデアレバ、國策トシテ若シ割増券ノ發行ト云フコトヲ閣議デ承認シサヘスレバ、是ハヤル途ハアルダラウ、是ハ法律ノ解釋問題デハナイ、

斯ウ云フ御話デアッタ、ソレデ其當時ノ政府ニ向ッテ相當努力ヲシタノデアリマスケレドモ、ソレハ考ヘテ置ク、考ヘテ置クト云フコトデ其儘ニナッタノデアリマス、ソコデ何時マデ待ッテモ是ハ到底堪ヘカヌト云フノデ、一昨年中島商工大臣ニ對シテ、ドウシテモ商工省ガ主トナッテ貰ハナケレバイカヌノデアアルカラト、商工大臣ニ十分御話申上ゲタ、所ガ其當時ノ中島商工大臣ノ頭ニハ、博覽會ト云フモノハモウ時勢遅レノモノデアアル、是ハ今更博覽會デモアルマイ、斯ウ云フヤウナ御考ガ主ニナッテ居ッタ、ソレデ是ガ遅タトシテ進マナイ、現ニ民間ノ發起團體——東京府、東京市、神奈川縣、横濱市、或ハ日本工業俱樂部、實業聯合會、或ハ日本産業協會、其他兩市ノ商工會議所、博覽會俱樂部ト云ッタヤウな民間ノ十團體ガ發起團體トナリマシテ、是ガ一ツノ法人組織ノ萬國博覽會協會ト云フモノヲ作りマシテ、サウシテ是ガ主催團體トナッテヤラウデヤナイカ、モウ政府ノ方ニハ直接之ヲ求メテモイケナイノデアアルカラ、政府ノ諒解ヲ求メテヤルト云フコトデヤレバヤレルノデアアル、サウ云フコトニ致シタイ、斯ウ云フコトニナリマシテ御願致シマシタ所ガ、法人組織スラ商工省ハ認可ヲ與

ヘナイ、已ムヲ得ズ今日デハ法人組織デナク、一ツノ私團體トシテ博覽會協會ト云フモノヲ作りマシテ、現ニ東京市ハソレニ對シテ五十萬圓ノ金ヲ支出スルコトヲ市會ノ決議ヲ經、他ノ團體ガソレノ十萬圓、二十萬圓宛出合ヒマシテ、茲ニ百萬圓ノ資金ダケハ其各團體ガ負擔ヲシテ出スコトニナッテ居リマス、政府サヘ其氣ニナレバ直チニ出來ルコトデアリマス、而シテ昭和十五年、即チ紀元二千六百年ト申シマスレバ、モウ五年シカナイ、萬國博覽會ト言ヘバ見ットモナイモノハ作レナイ、日本ニ於テ明治六年カラ世界ノ萬國博覽會ニ贊同スルコト、既ニ約七十回トマア承ッテ居リマス、年巨額ノ金ヲ出シテ外國ノ博覽會ニハ贊同シテ居リマスルケレドモ、日本ハ一回モ未ダ自分ノ地元ニ於テ開クニ至ッテ居ラナイ、最近日本ノ文化ヲ世界ニ發表シ、大ニ平和的日本ノ實情ヲ世界ニ紹介ショウト云フノデ、今度ハ政府ガ百萬圓モ出シテ國際文化事業ヲ御ヤリニナル、失禮ナ申分デアルケレドモ、パンフレットトヤ講演位ノコトデ、世界ノ注目ヲ日本ニ集メルトカ、或ハ日本精神ヲ理解シテ貰フト云フコトハ、中々出來ルモノデハナイ、是ハ萬國博覽會ノ如キ平和的事業、斯ウ云フモノヲ日本ニ於テ今政

府ガ少々金ヲ出シテモ拵ヘテ、サウシテソレヲ機會ニ各種ノ萬國大會、學術大會或ハ「スポーツ」ノ大會、其他産業上ノ各種ノ大會ヲ日本ニ於テ開キマスレバ、十萬人ヤ二十萬人ノ外國人ヲ、日本ニ誘致スルコトハ譯ハナイコトデアル、此位有效ナル事業ハ私ハナイト思フノデアリマスルガ故ニ、現商工大臣ハ最モ此問題ヲ御解決下サル上ニ於テ適任ナ方デアルト私ハ信ジマシテ、御見込申シテ茲ニ此問題ヲ提ゲテ御質問申上ゲタ譯デアル、之ヲ是非此機會ニ實現シ得ラレマスルヤウ、サウ云フマダルッコイコトデナク、今其緒ニ進ンデ居ルノデアリマス、正式ニ又建議案トシテ是ガ議會ニ出ルカモ知レマセス、實行的ニ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス

○町田國務大臣 只今ノ熱心ナル萬國博覽會ノ御趣意ハ贊成デアリマス、尙ホ今マデノ經過ノコトニ付キマシテモ、只今大山君カラ承ル程實ハ私知ラナイノデアリマス、又先刻知事、市長ノ御話モサウ云フ經過ヤ、總テソコマデノ意味ノコトハ、議會デ時間ガナカッタ爲カ、極ク大要ヲ承ッタケデアリマシテ、趣意ハ贊成ダ、唯經營、其他ノ方法ニ對シテ尙ホ能ク檢討シテ見ヤウデヤナイカト、委員ニ御話シマシタガ、大體私

ハ出來ルダケ實現スル方ニ努力スルト云フコトダケハ、茲ニハッキリ申上ゲテ置キマス

○岡田委員長 今日ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十時ヨリ開會致シマス
午後零時二十分散會

衆議院昭和十年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員會議錄第六回中正誤

頁	段	行	誤	正
一八	四	一一	借入	買入

昭和十年二月十五日印刷

昭和十年二月十六日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社